

2016県教研

とき：2016年12月3日（土） 開場10:00 開会10:30

ところ：湘南高校（小田急線藤沢本町駅下車徒歩7分 地図裏面）

全体会記念講演 10:30～12:30

「グレーゾーン＜部活動＞を見える化する」

—先生と子どもの安全・安心を求めて— 講師：内田 良さん

「善きもの」としてなされる教育の陰に、危険や抑圧が隠されている。同調圧力、いじめ、学校事故、長時間の労働、これらが複雑に絡み合い、児童生徒、保護者、教員をリスクへと引き込んでいく。教育社会学の若手論客による講演。



内田 良（うちだりょう）

名古屋大学准教授。学校や家族にかかわる社会問題について社会学の立場からアプローチしている。

組体操、特に巨大人間ピラミッドの危険性を訴え、賛否両論を巻き起こし、部活動問題では、生徒と教員双方を圧迫するリスクについて指摘をつづけている。

【著書】

『教育という病

～子どもと先生を苦しめる「教育リスク」～』

（光文社新書 2015）

『柔道事故』（河出書房新社 2013）

『「児童虐待」へのまなざし』（世界思想社 2009）

分科会 13:10～16:00

*分科会の内容は裏面をご覧ください。

■日本語教育分科会

■青年期の心分科会

■家庭科分科会

■平和教育分科会

■健康教育分科会

■人権教育分科会

■後期中等教育問題分科会

■特別分科会①「みんなで話そう、学校部活動のこと」

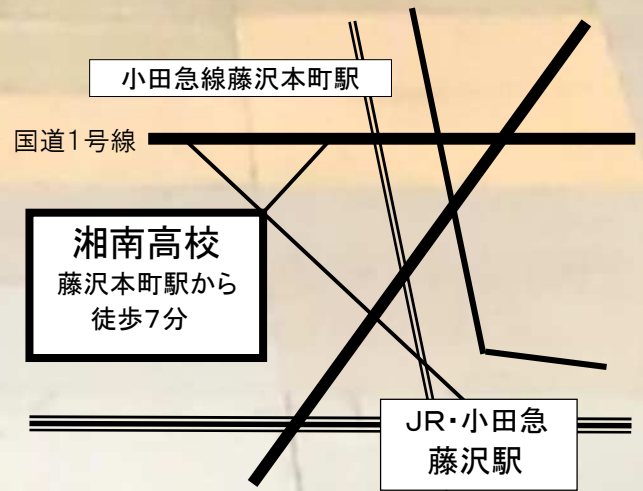
■特別分科会②「どうする！？ 高校生のアルバイト問題」

2016県教研 分科会案内

2016年12月3日（土）

（全体会・昼食休憩後）

分科会：13:10開会～
16:00閉会



■日本語教育分科会：

①アクティブ・リーディングの試み、②現代語文法と文章の指導、③聞き書きのすすめ、④小論文指導の実際。

■家庭科分科会：

「指導要領の改訂を待たずに勝手に始めよう！ 家庭科が音頭を取っての…社会状況と生徒の現状を結び付ける、授業実践交流会」

■健康教育分科会：「養護教諭の歩んで来た道からみえてくる、これからの学校保健」

1968年、養護専門委員会が発足し、約50年。時代の流れの中で今、求められているものを共に考えよう。

■後期中等教育問題分科会：「学校が息苦しくなっていませんか？ 『規範意識』と管理教育」

2008年の文科省通知「児童生徒の規範意識の醸成～」には、「ゼロ・トレランス方式」「段階的指導」などの言葉が並んでいます。各学校で起きている具体的な事例をとりあげながら、徹底的に討論しましょう。

■青年期の心分科会：「子どもの貧困を学ぶ」

「子どもの貧困連鎖」(新潮文庫 保坂渉 池谷孝司著)の読書会という形式で分科会を進めます。事前に読む必要はありません。当日内容を紹介し、討議及び討論を行います。

■平和教育分科会：「第五福竜丸被爆事件を知っていますか」

日本の原水爆禁止運動の原点となった1954年3月1日のアメリカのビキニ環礁での水爆実験、それによる船員久保山愛吉さんの被曝死。平和教育分科会では第五福竜丸元船員の太石又七さん(82歳)の証言を伺います。

■人権教育分科会：

①2016外国につながる生徒在籍調査の報告。②レポート「座間総合高校の外国につながる生徒にかかわるとりくみ」。③レポート「通信制高校の体育実技から考える人権」。

■特別分科会①「みんなで話そう、学校部活動のこと」

全体会の内田良さんの講演の内容を振り返りながら、学校部活動の今後のあり方についてみんなで話し合しましょう。もちろん分科会からの参加もOK！「神高教 部活動問題プロジェクト」の中間報告も行います。

■特別分科会②「どうする！？ 高校生のアルバイト問題」

2015年、「高校生のアルバイト問題調査WG」は1311人の高校生を対象に調査を行った。4割近くがアルバイトでおいしいと思った経験をしていたが、誰にも相談したことがない生徒が16%もいる。この問題をいっしょに考えてみたい。

参加される組合員のみなさんへ：お車でのご参加はご遠慮ください。会場にゴミを残さないようにしてください。